

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こばんはうすさくら 浜松江之鳥教室

公表日 2026 年 2 月 20 日

利用児童数

12人

回収数

12

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	2	1	0	学校に比べると手狭な印象はありますが物の配置等工夫していただいて子どもたちが活動出来るように配慮いただいている。	限られたスペースを有効活用できるように工夫し、外の活動を取り入れたり、ふれあいセンターを有効活用していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11	1	0	0	人員について専門的なことはわかりませんが特性のある子たちをよく見てくれていると思う。災害があった時は今の人数で大丈夫なのか不安はある。	児発・放デイの職員が協力し合い怪我や事故の無いようにしていきます。災害時は子どもの安全を第一に考え適切に動けるよう訓練していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	0	0	0	空間に無駄なものが少なく、子どもが活動に集中できるように配慮されていると思う。イラストや写真などわかりやすく伝える工夫がされている。	今後も子どもたちがわかりやすく動きやすい環境を整えていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	0	0	0	いつもきれいに掃除されて、整った環境だと感じる。	清潔な環境の維持に努め、活動しやすい環境となるよう工夫、改善を行っていきます。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	1	0	2	様々な資格をお持ちの先生方がいるので、見方考え方、支援方法も違いもあるが専門性もあり面白さもあり心強く思っている。	特性についての理解を深め、ご家庭、学校とも連携し情報共有をしながら支援していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	0	0	1	合っていると思います。紙面化して控えをいただいている。	支援プログラムを保護者に周知し、日々の支援とのつながりが明確になるように努めていきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	0	0	0	本人のことをよく理解し、我が子に合わせた支援計画を立ててくださっていると感ずる。	面談時や送迎時など、きちんとアセスメントをとり、お子さんに合った計画作成に努めていきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	0	0	0	問題なく設定されていると思う。	お子さんの成長に合わせて、子どもたちが取り組みやすい内容となるよう必要な支援内容を適切に設定していきます。スモールステップで保護者にもわかりやすい計画作成に努めていきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	0	0		集団でも個別でも自立に向けた活動もあり支援については問題なく行われている。	計画に沿った活動を行い、活動時の様子を連絡ノートや送迎時に保護者にもわかりやすく伝えていきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	1	0	0	季節の行事や遊び、製作活動、運動、外出など多彩で、良い刺激になっている。出来たらいいと思うことを計画的にやっている。	季節を感じたり、興味のある活動の提供に努め、楽しみながら参加できるプログラムを考えていきます。
保護者 への 説明等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	0	3	3	今のところ交流は無かったが、現時点ではなくてもいいと思う。同じ系列で1つの会場に集まってる活動があった。	子どもたちの様子を見ながら、必要に応じて活動する機会を検討していきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	0	0	0	丁寧でとても分かりやすく説明してもらった。	今後ともわかりやすく丁寧な説明を心掛けていきます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	0	0	0	毎回丁寧に説明してもらっている。	目標や支援内容など具体的に伝わるように現状や課題も踏まえながら丁寧な説明を今後も行っていきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	2	0	1	講演会の開催があったり、お話会など家族同士の交流の場を設けてもらっている。	保護者の要望なども取り入れながら、今後も開催の検討をしていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	11	0	0	1	送迎時や、連絡ノートでしっかり情報交換ができていて。事業所での困りごとなども教えてもらい、家庭での対応を考えるきっかけになっている。	家庭での様子を情報共有し、事業所やご家庭での対応についても共有していきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	1	0	0	保護者の意見や心配事など聞いていただいている。必要に応じて適宜面談していただき、相談にものってもらっている。	保護者様の声に耳を傾け、困りごとや悩み事を共有し一緒に解決していきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	0	0	0	連絡ノートの内容や、送迎時に話す内容、子どもとの関わり方を見て感じ取ることができる。	今後も子どもや保護者に寄り添った支援が出来るよう努めていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいのへの支援がされていますか。	11	0	0	1	兄弟参加のイベントもあり、ありがたい。たくさん保護者と交流ができて友達ができた。	今後ともご利用者、保護者だけでなく、兄弟やご家族で参加できるイベントを企画していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1	0	0	迅速に対応していただいている。「いいつでも」と言ってくださっているので、いざという時心強いです。	相談等の申し入れがあった場合は速やかに対応できるようにしていきます。相談しやすい雰囲気づくりにも努めていきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	0	0	0	細かく伝達してくれ、配慮されています。絵カードなどで工夫してくださっている。	それぞれの子どもや保護者に合った方法を検討し、わかりやすい情報伝達が出来よう努めていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10	0	0	2	イベントや活動内容など定期的に写真付きの書面いただけるので、活動に参加できなかった時も雰囲気を感じられるので嬉しく思います。	今後ともわかりやすく、子どもの様子や活動の様子が伝わるような情報発信に努めていきます。

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	0	0	0	個人情報の取り扱いについて問題ない。情報が他者に漏れることなく留意されていると思う。	今後も個人情報の取扱いに十分に注意していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	0		1	マニュアルの有無についてなど説明があったかもしれませんが忘れてしまいました。訓練は定期的に行き実施されている。	マニュアルの周知の仕方を検討し、ご理解いただけるよう説明していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	0	0	0	頻繁に訓練がされていて、身に付くまでに時間のかかる子なので繰り返し行っていただいていたので安心して行っている。	避難訓練の回数は多めに設定し、非常時に備え日常の活動にも避難に繋がる動きを取り入れていきたいと思っています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	0	0	0	安全の確保はされ、しっかり支援されていると思う。	今後も子どもたちの安全を最優先に活動が行われるように努めていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	0	0	0	どんな状況で怪我をしたのかしっかりと説明していただいている。	事故や怪我が発生した時は、保護者に状況を詳しく速やかに報告できる体制を整えています。職員間の情報共有も徹底していきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	9	2	0	1	本人が言えないのでわかりませんが安心できる場を作ってくださる努力が見える。たまに不安になることもあるが行き渋りもないので安心して行っていると思う。	安心感をもって通っていたできるよう関係づくりに努めます。笑顔で1日が終わるよう支援していきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	7	2	0	3	お気に入りの先生がいて家庭でも先生について話をする。満足度は高い。本人を見ればわかる。自分から「行く」と言っている。	自分の居場所としてこぼんで楽しく過ごせるように子どもの興味を探っていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	0	0	0	満足している。大変だとは思いますが工夫して関わってくださり暖かい目線で受け止めて下さり感謝している。	今後も満足していただけるよう日々の支援に向き合い、保護者とも良好な関係性を築いていきたいと思っています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こぼんはうすさくら 浜松江之島教室		2026 年 2 月 20 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2	活動の場所を区切ったり、パーティションを利用しながらスペースを活用できるようにしている。	人数に対してのスペースは確保されているが、痾癪時や発作時の対応時にスペースの確保の工夫が必要だと感じる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	3	3	活動内容や利用児に応じて、児発・放デイの職員が協力して支援している。	1対1での対応が必要な児も多いため、安全に活動を行うための配慮や方法の検討が必要だと思われる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	写真やイラストを使い、目で見てわかるようにしている。トイレに手すりをつけるなど取り入れられる対応をしている。	階段、トイレには手すりを設置し補助的に使用しているが、今後必要な環境上の配慮を見直していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎日、清掃・消毒を行っている。安全に活動ができるよう、活動に応じた配慮を行い心地よく過ごせる空間にしている。	テープが剥がれたりなど、修復できるところをまめに直し、今後も清潔で安全な環境を整えていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	3	パーティションを利用し個別の空間を確保したり、別室や廊下などの静かな別空間を利用できるようにしている。	どうしても個室を使用する場合は、密室になることを避け、第3者の目が届く環境での対応を検討していく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	朝礼や終礼時に、目標設定や振り返り、情報共有を行っている。職員の動きや目的についても確認を行っている。	今後も全職員で共通理解のもとと支援に当たれるように努めていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	保護者からいただいた意見は職員で周知し、話し合いをした上で支援に改善が必要な場合はすぐに対応するようにしている。	今年度の評価表をもとに来年度の事業改善に繋げていきたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	朝礼や終礼、個人面談などで意見が出せる場を設け把握できるようにし、業務改善につなげている。	話しやすい雰囲気づくりに努め、活発な意見交換をし、業務改善に繋げていきたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4	現在は行っていない。	客観的な意見を反映できるように、今後関係機関などからも意見を伺っていきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	研修案内が周知されるほか、オンラインでの研修が取り入れられ、個人に合った研修を受けることができる。	各自必要だと思う動画研修を受講する時間を取れるよう時間の使い方を検討していく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	適切に作成され保護者に公表され、いつでもホームページで閲覧ができるようになっている。	年度初めに作成し、ホームページにて公表している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	アセスメント、日々の支援の振り返りを客観的にを行い、個人面談で情報共有を行い計画作成を行っている。	今後も細かなアセスメントを行い、保護者の意見もきちんと把握して計画を作成していく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	支援を行う職員で朝礼や終礼で話し合った意見を取り入れ原案の作成を行い、さらに原案についても話し合っている。	全員で話し合う時間の確保が難しいが、限られた時間で内容の濃い話し合いができる工夫をしていきたい。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	計画を共有した上で、記録表にも計画を記載し計画に沿った支援、記録や振り返りができるようにしている。	個別記録表にサービス計画を載せることで毎日目標を確認し支援に当たっている。記録の取り方も検討したい。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2	アセスメントツールに沿ったアセスメントを行っている。日々の様子を個人記録表に記録し共有している。	日報、個別記録表をもとに支援に関わる職員の情報共有を徹底していく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	日々の子どもの様子から具体的な目標設定を行い、より細かな支援内容を設定している。	ご家庭、関係機関とも連携しながら今後も子どもに必要な支援が提供できるよう計画を作成し、支援をしていく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	必要な支援、プログラム内容などを職員間で話し合ったり相談をしながら、それぞれの職員の意見を取り入れ立案している。	児童の個人差を考慮した上で安全に楽しめるプログラムを今後もチームで考えていきたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	必要な支援は継続したり、曜日で活動の大半は決めているが、内容は固定化しないようにいろいろ試しながら工夫をしている。	日々の児童の成長を共有し子どもの興味・関心を探りながら今後も積極的に職員間で意見交換していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	総合的な計画を作成し、個別支援が必要な場合は活動の待ち時間などを利用することで個別に対応する時間を作り集団遊びも取り入れている	個別活動の時間確保が課題であるが活動プログラムを調整し今後も充分な個別活動が出来るよう検討していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	毎朝ミーティングを行いその日の支援の内容と役割等を確認し支援の方向性を周知、確認を行っている。	毎朝のミーティングの中で支援内容や役割の確認をし、今後もスムーズな連携や統一した支援が行えるように努めていく。

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	終礼を行い記録の記入や支援内容の振り返りや共有を行い、翌日以降の支援に活かすことができるようにしている。	今後も終礼を行い、気付いた点やいつもと違う点、変化を見落とさないようにし、共有していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	一人の児童に対して複数の職員の記録を記入し細かな記録を残し、支援に活かせるようにしている。	記録をきちんと残し目標に対する記録、日々の特記事項などわかりやすく記録を残せるようにしていきたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	定期的にモニタリングを実施している。	定期的な時期には見直しを行っているが、適宜計画が個に合っているのか判断していきたい。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	2	さまざまな活動を組み入れ支援ができるよう活動を考えている。	遊びの中で経験を積めるように支援内容を工夫し、地域交流の方法を今後検討していきたい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	自由遊び時のおもちゃの選択や製作時など、子どもが興味を持ってそうなところから選択、自己決定の機会を提供している。	今後も子どもの興味が持てるものを探っていく、自己選択、決定ができる機会を増やせるように努めていく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	施設長や児発管など子どもの様子を理解した職員が参加しており、必要に応じて事前に様子などを共有している。	今後もこの体制でやっていき、支援に関わる職員が子どもの様子を理解していくように努めたい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	主治医や心理士、学校等の関係機関に必要に応じて協力を依頼し、見学や会議など連携を図っている。	今後も連携、情報共有しながら支援体制を整えていきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	送迎時に学校と情報共有を行っている。連絡調整も事業所で対応するよう統一している。	学校送迎時に学区での様子を共有していく。連絡調整も職員間の情報共有を徹底し迅速、丁寧な対応ができるようにしていきたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	利用開始前に情報共有をさせていただける。細かな情報共有が行えるよう努めている。	今後も利用開始前に情報共有をしていき、支援に繋がれるように努めたい。支援途中でも連携していくことも検討していきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	4	まだ対象児童がいないため行っていない。	移行するケースが生じた場合は、情報共有していきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4	研修に参加はしているが、積極的な連携の機会は少ない。	今後も研修に参加し、困った時や必要な時には頼れる専門機関として今後も連携していきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6	現在は行っていない。	今後必要に応じて交流や活動などの場を設ける機会を検討していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4	参加はしているが積極的な参加はできていない。	機会があれば意識して参加するようにしていきたい。
保護者への説明等	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	連絡帳や送迎時に様子や状況を伝え、家庭での様子もお聞きし共有している。	今後も連絡帳や送迎時に様子を伝え、ご家庭での様子もお聞きしていき共有していく。保護者の変化にも積極的に声をかけていきたい。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	保護者会を開催し、家族が気軽に情報交換や悩み相談などができる機会を設けている。	今後も保護者会の開催など、ご家族が情報交換や悩み相談ができる機会を設けていきたい。開催頻度、時期についても検討したい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に説明を行い理解や同意を得ている。	ていねいな説明を行い、理解や同意が得られるように努めたい。不明な点への申し出にもわかりやすく対応していきたい。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	年2回の面談時に保護者の意向を確認し、子どもの希望なども伺っている。	今後も面談を行い、保護者の意向やお子さんの意向を確認し、反映された計画作成に努める。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	計画を示しながら説明を行い同意を得ている。	わかりやすく、丁寧な説明を行い計画内容を理解してもらえるようにしていく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	連絡帳や送迎時、電話などでいつでも相談を受け付けているほか、必要に応じて面談を行っている。	保護者が相談しやすい雰囲気づくりに努め、いつでも相談に応じられるようにする。職員からも積極的に声をかけるようにしていきたい。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	6	0	保護者会を年2回定期的に開催し、交流する機会を設けている。兄弟同士の交流は現在設けられていない。	保護者会の開催頻度、開催時期も検討し会の内容も精査したい。兄弟同士での交流の機会も検討していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	苦情対応の体制を整備、周知し、迅速かつ丁寧に対応を行っている。相手がある場合には双方に迅速な対応を心がけている。	今後も苦情対応の体制の整備、周知を迅速かつ丁寧に対応し、相手がある場合には双方に迅速な対応を心がけたい。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	定期的に紙面にてお手紙を出している。	今後も定期的に紙面にてお手紙を出し必要な情報の提供、子どもの活動の様子を発信していきたい。個人情報には十分に配慮していきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報に記載されたファイルなどは事務所で管理を行うなど、取り扱いには十分留意している。	今後も個人情報に記載されたファイル等は事務所で管理し、取り扱いには十分に留意していきたい。

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	外国籍など配慮が必要なご家庭には個別に対応したり、わかりやすい表現や伝え方になるよう心がけている。	必要に応じて個別に対応するなど、困らないようにできるだけ配慮をしていきたい。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	積極的には行えていないが、地域のふれあい交流センターの利用を通して地域との関わりを持てるようにしている。	地域住民の方にも知っていただけるような活動開催や活動参加を検討していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	各マニュアルを策定、周知している。定期的な訓練も実施している。	訓練は実施しているが、各マニュアルを策定していても周知が徹底されていないと感じる。今後周知の方法も検討していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	BCPを策定した上で、非常災害の発生に備えて定期的な訓練を行い、子どもたちの防災意識につながる活動も取り入れている。	前年度の反省を踏まえて、より安全に避難できる方法を検討し、訓練していく。実施回数も検討したい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	契約時に確認を行い、年度初めに変更がないかを確認したり、その都度様子を伺ったりして状況を確認している。	変更があった場合の職員間での情報共有をきちんとしていきたい。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	保護者から情報、要望等を伺い対応を共有している。	医師の指示書については今後検討していく。保護者からの情報を全職員がきちんと把握することに努める。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	計画はいつでも確認できるようになっている。安全管理が行き届いた環境で支援を行うことができるようにしている。	安全計画の周知に努め、今後も計画に基づいてきちんと対応していく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	訓練等の取り組みは紙面などを通じて保護者に周知している。	今後も安全計画をご家庭に周知し、実施した内容についてはお手紙で周知していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	記録の記入を行い話し合いの場を設けて共有し、再発防止策も検討、周知している。	事前に対応できること、環境設定などを強化していきたい。起こってしまったヒヤリハットについては迅速な周知、検討を行い再発防止に努める。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	定期的に虐待に関するアンケートを行い、結果の共有や対応策の話し合いを行っている。	積極的に研修に参加していく。虐待アンケートを行うことで、自分たちの支援を振り返り、適切な対応ができていのか検討を継続していきたい。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	職員間で対応を検討した上で、個別支援計画に記載し、保護者に説明、同意を得ている。	ご理解いただけるよう丁寧な説明を心掛けていく。